

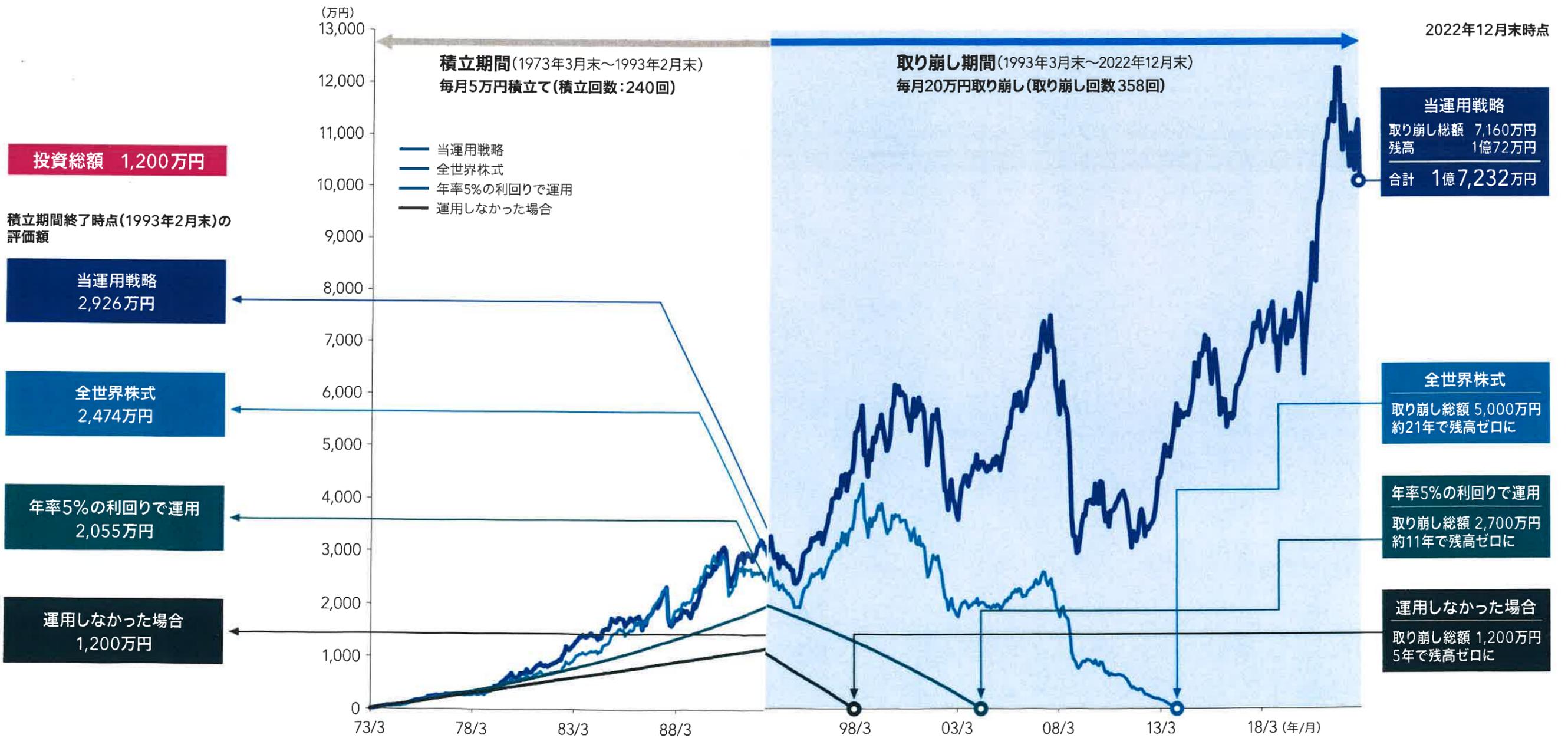
「運用しながら取り崩すこと」で、お金を長生きさせる

- 積立投資を行なった後、運用しないで取り崩す場合と運用しながら取り崩す場合とでは、投資成果に大きな差が出ることもあります。
- 例えば、運用しないで積立てた1,200万円を毎月20万円ずつ取り崩した場合、5年で残高がゼロになります。

- 一方、当運用戦略の場合、積立終了時の評価額は2,926万円でした。その後、当運用戦略を継続しながら毎月20万円ずつ取り崩した結果、2022年12月末までの取り崩し総額は7,160万円となりましたが、残高は1億72万円と積立終了時の評価額を大きく上回っています。

毎月5万円ずつ20年間積立てを行ない、その後毎月20万円ずつ取り崩した場合の残高推移(試算)

積立利率2%および信託報酬等の費用率率1.2%(信託報酬1.04%、その他の費用0.16%)相当を仮定しています。ただし、積立は考慮していません。当運用戦略以外の試算では、費用を考慮していません。



当運用戦略は当ファンドの主要投資対象ファンドである「キャピタル・グループ・ニューハースヘクティブ・ファンド(111)」と同一の運用手法を用いた運用戦略の実績をもとに試算した結果であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。当運用戦略に長期投資を行なった場合でも、運用状況等によっては損失を被る可能性があります。

※当運用戦略はコンポジット(トータルリターン、円ベース)の月次リターンを用いて算出。為替ヘッジは行なっていません。コンポジットとは、同一の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のポートフォリオの運用実績を加重平均してまとめたものです。
 ※全世界株式は2011年9月末以降はMSCI ACワールド・インデックス(税引後配当再投資、円ベース)、それ以前はMSCIワールド・インデックス(税引後配当再投資、円ベース)の月次リターンを用いて算出。いずれのインデックスも当運用戦略あるいは当ファンドのベンチマークではありません。
 出所:MSCI、キャピタル・グループ